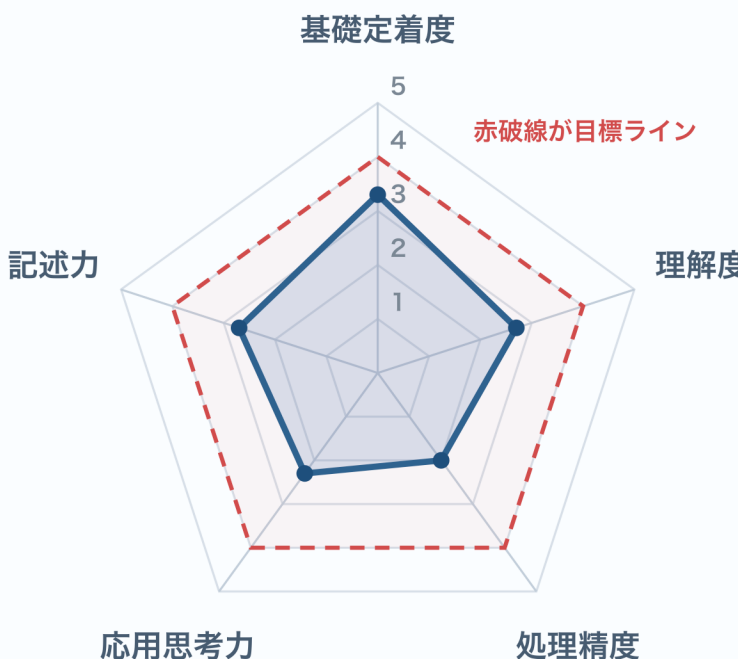


学力分析レポート

担当講師

総合的な学力マップ

学力5項目の総合評価



基礎定着度：典型問題が身についているか

理解度：公式や定義を深く理解しているか

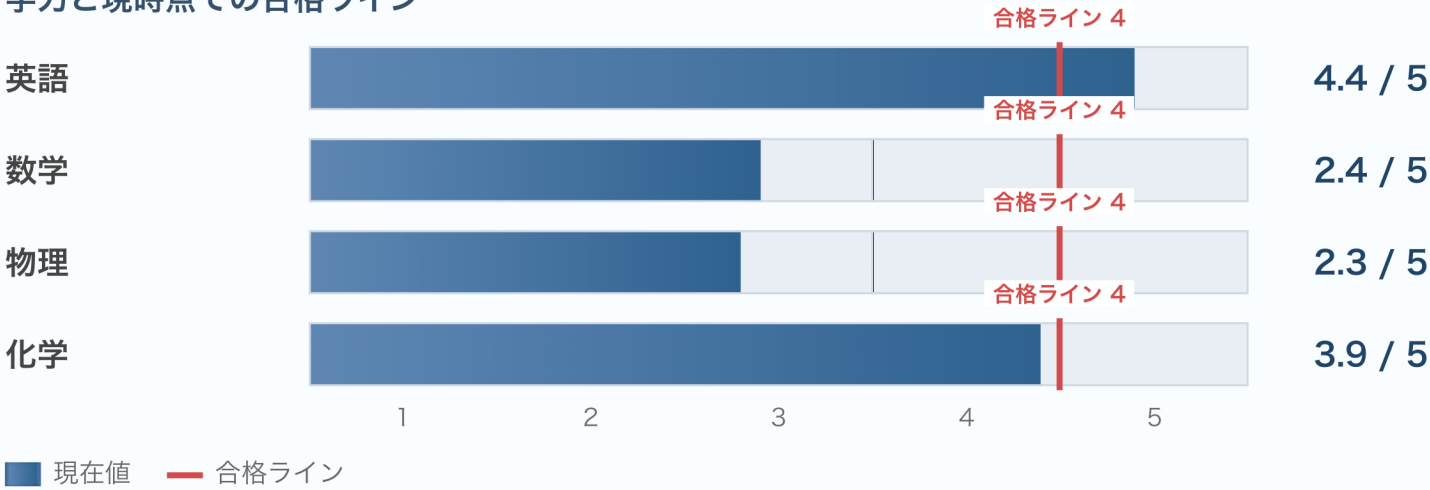
処理精度：ミスなく正確に解けているか

応用思考力：知識を応用して考えられるか

記述力：途中式や説明を論理的に書けるか

科目別の基礎学力

学力と現時点での合格ライン



学力の総合評価

今回の得点は35点／100点でした。問題全体の難易度は標準的であり、現時点では60点前後を目標得点として取りたかったところです。今回の答案を通して最も大きな課題として見えたのは、各大問に共通して計算ミスや符号処理の誤りが多いことです。

一方で、まったく方針が立っていないというよりは、着眼自体は悪くない場面も多く、途中の処理精度によって得点を落としている印象が強くありました。そのため、現状は「解法知識が極端に不足している段階」というより、「典型問題を得点に変え切る精度と処理速度が不足している段階」と評価で

また、本邦は「海外の労働市場環境に鑑み、外国人労働者の労働環境の改善を図る」という政策目標のもと、労働環境の向上と労働市場の活性化を図る方針でいる。

大問ごとの定着度と弱点

大問の評価 1

科目	英語	対象の問題	第3問
----	----	-------	-----

この問題は、読者の理解に必要となる語彙や文法知識の習得が求められる問題であった。読者の理解に必要となる語彙や文法知識の習得が求められる問題であった。	
この問題は、読者の理解に必要となる語彙や文法知識の習得が求められる問題であった。読者の理解に必要となる語彙や文法知識の習得が求められる問題であった。	
この問題は、読者の理解に必要となる語彙や文法知識の習得が求められる問題であった。読者の理解に必要となる語彙や文法知識の習得が求められる問題であった。	

また、複素数平面の軌跡に関する問題として、 z 平面の軌跡が、 w 平面の軌跡に写像されることを利用して、 w 平面の軌跡を求める問題が出題された。この問題は、複素数平面の軌跡に関する問題として、 z 平面の軌跡が、 w 平面の軌跡に写像されることを利用して、 w 平面の軌跡を求める問題が出題された。

この問題は、複素数平面の軌跡に関する問題として、 z 平面の軌跡が、 w 平面の軌跡に写像されることを利用して、 w 平面の軌跡を求める問題が出題された。この問題は、複素数平面の軌跡に関する問題として、 z 平面の軌跡が、 w 平面の軌跡に写像されることを利用して、 w 平面の軌跡を求める問題が出題された。

大問の評価 2

科目

数学

対象の問題

第 2 問

この問題は複素数平面の軌跡に関する問題でした。複素数平面は一見難しく見えやすい分野ですが、実際の入試では処理の型が比較的是っきりしており、典型パターンを押さえているかどうかそのままだ得点に反映されやすい単元です。

(1)は計算問題として素直に処理できており、ここは問題ありません。基本的な計算を安定して合わせられている点は評価できます。

(2)も本質的には計算問題ですが、移項の際の符号処理に誤りがあり、もったいない失点になっています。このレベルのミスは、知識不足というより、途中式の整理不足と確認不足によって生じることが多いです。受

第2問

科目

対象の問題

第 1 問

志望大学との差について

現状の基礎学力について

今後の学習方針

今後の学習では、まず網羅系参考書を用いて各単元の典型問題を確実に定着させ、全統模試レベルで偏差値60を安定して取れる状態を目指しましょう。現状の学力を踏まえると、使用教材のレベルとしては『基礎問題精講』から『標準問題精講』、あるいはチャート式などの網羅型参考書が適しています。焦って参考書のレベルを次々と引き上げるのではなく、「自力で完答できる問題の割合」を着実に増やしていくことが、現段階で最も重要なポイントです。

演習の進め方としては、1回目は時間を気にしすぎず、自分の力でできるところまで考え切ることが重要です。その際、問題を「自信を持って解けた問

合格に向けた総括